



より早く！より安全に！

救急現場へ消防車が出動！

傷病者の救命のためには、迅速で安全・確実な救急活動が不可欠です。
 ここでは、亀山市の平成26年中の救急出動に関する概要と、救急車と消防車の同時出動についてお伝えします。

平成26年中の救急出動に関する概要

■救急出動件数が減少！

市の救急出動件数は年々増加傾向にありましたが、昨年は過去最多を記録した平成25年の2,114件から72件減少し、2,042件となりました。

救急出動件数と搬送人員（速報値）

	出動件数	搬送人員
平成24年	1,923件	1,863人
平成25年	2,114件	2,065人
平成26年	2,042件	1,931人

■病院収容までの平均所要時間が短縮

平成26年の現場到着までの平均時間は9分48秒で、前年と同水準でした。また、医療機関収容までの平均時間は44分24秒となり、前年より36秒短縮しました。

※119番通報を受けた時間から起算しています。

現場到着と病院収容までの平均時間（速報値）

	到着時間	病院収容
平成24年	9分24秒	42分30秒
平成25年	9分48秒	45分00秒
平成26年	9分48秒	44分24秒

救急初動体制の充実のため 消防車も出動しています

救急車と消防車の同時出動について、
亀山消防署消防第一担当の浅見秀大主査にお話を伺いました。



亀山消防署 消防第一担当
ひでひろ
浅見秀大 主査



救急隊と消防隊による傷病者の搬送

救急時の「消防隊」の主な任務

- ・ 救急隊の処置の補助
- ・ 傷病者の救急車内への搬送
- ・ 救急現場の安全確保
- ・ 救助活動
- ・ ドクターヘリ、防災ヘリの誘導 など

市消防本部では、傷病者の状態や出動場所の状況に合わせ、より迅速で安全に救急業務が遂行できるよう、救急車と同時に消防車が出動することがあります。

119番通報時に傷病者が重篤な状態であると予測されたり、マンションなど高層階からの搬出など、救急隊だけでは対応が困難な場合には、火災でなくても消防車が駆け付け、救急隊と連携した救急活動を実施しています。

「救急車を呼んだのに消防車がサイレンを鳴らして来た」と驚かれるかもしれませんが、適切な救急活動のため、ご理解とご協力をお願いします。

■救急車の適正な利用にご協力ください

昨年度の市消防本部の救急出動件数は減少しましたが、依然として緊急性が低いと思われる事例がみられます。

本当に救急車を必要とする、緊急性が高い方への対応が遅れることがないように、引き続き救急車の適正な利用にご協力をお願いします。

なお、救急車を呼ぶほどではないが、診察してもらえない病院がわからないなど、困ったときは、救急医療情報システムをご利用ください。

●救急医療情報システム

医療情報センター（対人案内） ☎82-1199

パソコン [URL http://www.qq.pref.mie.lg.jp/](http://www.qq.pref.mie.lg.jp/)

携帯電話 [URL http://www.qq.pref.mie.lg.jp/k/](http://www.qq.pref.mie.lg.jp/k/)

自動案内 ☎0800-100-1199

（通話料無料・ファクスでも受診可能）

※受診の際は、必ず紹介された医療機関に事前確認してください。

●小児救急医療相談事業

#8000（各都道府県に窓口があります）

問合せ先 市消防本部消防救急室（☎82-9496）